

11月28日(土)に西田布施公民館で『田布施町人権教育推進大会』が開催されました。

大会では、夏休みに町内の小・中・高校生から募集した、詩、啓発標語、ポスターの入賞者を表彰するとともに、入賞作品集を制作し配布しました。

最優秀者は次のとおりです。(敬称略)



## 🌸最優秀賞

### ■詩の部 2点

#### ・『心の世界』

山根 瑞姫(田布施中学校 3年)

#### ・『差別のない社会をめざして』

雪畑 辰弥(田布施総合支援学校高等部 1年)

### ■啓発標語の部 1点

#### 『思いやる 心で広がる 笑顔の輪』

小田 真子(城南小学校 4年)

### ■ポスターの部 3点

明田 夏希(城南小学校 6年)

岡入 心美(田布施中学校 1年)

#### ・『心のパズル』

芳崎 彩乃(田布施総合支援学校高等部 3年)



- ◇練習日 週3回(火・水・土)
- ◇場所 TAIKOスポーツセンター  
田布施 体育館
- ◇代表者 堺谷 富士雄
- ◇問合せ先 山城屋 美奈子  
☎090-3172-7015

## サークルスケッチ

### ◇◇◇ バウンドテニスクラブ ◇◇◇ ~新型コロナ禍に痛感したこと~

私たちのバウンドテニスクラブはTAIKOスポーツセンター田布施体育館で、週2回の定期練習と週1回の自主練習をしています。この競技の愛好者達のほとんどが高齢者ですが、私たちのクラブ員は40代、80代の幅広い年齢層です。

今年も、お互いの健康を確かめ合いながら、岩国市や光市など近隣市町で開催される親善大会への出場を目標に日々練習に励んでいました。

新型コロナウイルスの流行で、スポーツセンター体育館は2か月あまり閉館となり、私たちのクラブが引き受けていた9月の県選手権大会、11月の県審判講習会を含め、すべての大会は中止となりました。感染対策に頭を悩ませながら準備を進めていたので、ホッとしたり反面、大変残念でした。

2か月あまり運動が出来なかったため、思いのほか、体力が衰えていました。失った筋肉は半年経った今も回復していません。今まで腰痛や膝痛を騙しながらほどほどに運動をしてきましたが、長い自粛生活の間にあちこちの筋肉がすっかり落ち

てしまい、腰や膝が悪化したようです。

思いもよらなかった新型コロナウイルスの発生により、環境が激変し、初めて今まで当たり前にしてきた生活のありがたさに気づきました。

このコロナ禍でも、感染対策を工夫しながら、バウンドテニスクラブの仲間とともに体力づくりを励みたいと思います。若者だけでなく高齢者にとってもスポーツをする事の大切さを痛感しています。

